

昭和二十一年 月 日 第 號

地方世話部 死亡者 認定票

昭和二十一年 月 日 製
留守 業務 課

所屬部隊名 固有名 独歩十一隊 通稱名 泉第五三回部隊

本籍地 昭一六 現 歩 上等兵 任長 氏名

死亡年月日時 昭和二十一年二月四日 死亡場所 比島ルソ島 傷病名

現住所 横柄 氏名

泉五三四部隊に於て同部隊より後方セリし為 居生在中は 消息 此の中隊の者 運送 してソシカハ二十一年一月以降 は、ケリテ行初 活港に於り山中の自初車運送は次第に危復 となりしに 重要なる者 運送の為、アノカシトモ出発、ホニカボト 向山途中、現地、ケリテこの難航、難を各々車中、死セリ 上等兵

戦死 官階 位長 進級 印 檢 点 認定 進級 告知 記載



下

本籍地
現居地
所屬部隊
官等級

姓名
[Redacted]

[Redacted]

第五三一部隊

徵集後種籍

死亡年月日 昭和二十一年二月四日午後

死亡場所 比島支三ノ市トド区

死亡区分 暴死

遺棄回文 後遺棄

現認事 右

昭和二十一年二月四日午後、第五三一部隊
員、暴死後、回文、無、死、認、事

遺骨 有

遺物 有

遺物 有

現認事 有

所屬部隊 第五三一

現居地 新

昭和二十一年三月七日

46-11

昭和二十二年三月廿四日 死亡者調査表

死亡者調査表

昭和二十二年三月廿四日

所屬部隊 陸軍 歩兵 第一師団 第一旅団 第一聯隊 第一中隊 第一小隊

年 12 月 12 日 死亡時刻 午後 1 時 30 分

軍 階級 兵 死亡原因 戦死

死亡場所 陸軍 歩兵 第一師団 第一旅団 第一聯隊 第一中隊 第一小隊

死亡直前の職務 通信班班長

見所及捕虜の手入料 右現住 所屬部隊 陸軍 歩兵 第一師団 第一旅団 第一聯隊 第一中隊 第一小隊

姓名 田中 義太郎

生年月日 昭和十一年三月廿四日

籍貫 東京都 豊島区 雑司が谷

〇〇〇 記載上の注意 本表は死亡者調査表であり、死亡時刻は推定時刻とする。

寫

戦死の証明及び戦友の言葉 寫

威一七六五七部隊

隊

隊

陸軍部長

[Redacted]

比島マニラ武勲山の戦斗

昭和二年二月九日名譽の戦死す

威一七六五七部隊

部隊本部

印

死亡現認證明書

所屬部隊名	第十師團野戰兵營廠
官等職氏名	陸軍衛生上等兵
無地	
死亡年月日	昭和三年五月九日午前十一時
死亡区分	戦死
死亡場所	比島リバー川モントレンテ公率側
傷病名	空爆による
遺留品状況	不明
現認事由	空爆によるものあり戦死を現認す
證明年月日	昭和三年五月一日
所屬部隊名	第十師團野戰兵營廠
官等職氏名	陸軍兵長
現住所	

記載上の注意

本證明書は三師團作製する。死亡者官等職は死亡當時の階級を記載し、死後昇進した場合は階級を記載する。現認事由は陸軍省の指示に従って記載する。記載事項は戦時中に変更されることがある。記載事項は戦時中に変更されることがある。記載事項は戦時中に変更されることがある。

附-11

証明書

部隊番号

撃一三〇六部隊

隊

隊

氏名

陸軍技術軍曹

日付

昭和二十年二月五日

場所

比島 天正ハニバ州ルバオ

戦死当時情況

昭和十九年一月十日ハオ着 同日ヨリサニホセ園辺ノ作戦ニ参加シ二月五日重機筒銃ノトニテ米軍ニ交戦中自撃砲彈ニテ胸腹被弾即死ス

右之者比島オバオニテ戦死セシ事ヲ証明ス

昭和二十年四月七日

地方世話会調査科殿

現認證圖書

比島海邊

戰時之大大三師隊

陸軍上草其後

右者昭和二十年二月六日

比島初比島ハニ於テ

戦時ノ時ニ於テ

全身砲彈破片創

ニ因リ身死(葬儀)ニ付テ現認

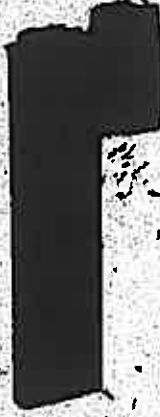
昭和二十年二月十六日

現認者元

比島海邊隊員(陸軍)陸軍少佐長

現任所

氏名



現認證明書

民生部世話課

<p>昭和 25 年 12 月 16 日</p> <p>右現認證明致します</p>		<p>死者の別</p> <p>死</p>	<p>死亡の状況</p> <p>新田路長...</p>	<p>姓名</p> <p>新田路長...</p>	<p>死亡年月日時</p> <p>昭和 25 年 12 月 16 日...</p>	<p>死亡場所</p> <p>...</p>	<p>死亡原因</p> <p>...</p>	<p>死亡の等級</p> <p>...</p>	<p>備考</p> <p>...</p>
<p>遺留品</p> <p>有</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>	<p>遺留品</p> <p>無</p>
<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>	<p>現住所</p> <p>...</p>
<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>	<p>所属部隊</p> <p>...</p>
<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>	<p>自筆氏名</p> <p>...</p>

現認(事實)證明書

本籍地

所属部隊 固有名 狂五歩兵一六六隊 通稱名 威一〇七〇部隊

徵集年

登種 國民兵 兵種 歩兵

官等級(昭和十九年九月十九日發令)兵名

陸軍一等兵

年 月 日生

一、死亡年月日時分 昭和二十三年 二月 七日 七時三〇分

二、死亡區分及傷病名 戦死 (大腿部貫通)

三、死亡場所 北島ルノ中部ニテテ洲テサ町

四、死亡状況 死の現認者、自係 本台昭和二十三年三月十日
に在りて、前夜中隊の一員として死の時は、隊員として
死亡前後、秋、一月の二五日は、匪敵討伐に参加し、
部隊に随員として、二月に戦死、死後、同地埋葬

五、遺骨及遺留品の有無 並に遺函(状況) 無し

六、死亡に関する書類の有無 死亡調べる書類は、戦時中に焼却

右の通り相違ない事を証明する

昭和二十三年 二月二十日、元所属部隊(固有名) 狂五歩兵一六六隊

(通稱名) 威一〇七〇部隊

現住所

舊職官等氏名 陸軍上等兵

一、死亡者本籍地

二、留守担当者住所親類氏名

右の通り相違ないことを証明する

昭和二十三年 五月 七日

縣 郡

村町市

死亡現認證明書

所屬部隊名 撃一二一〇六部隊
官等級氏名 陸軍衛生兵二等兵

本籍 鹿

死亡年月日 昭和二十年二月七日

死亡の分類 戦死

死の場所 川ルソノ島 又エバエニバ洲 ルパオ

傷の有無 有

遺骨の有無 有 遺骨携行シ武装解除 除米軍ニ押入レ

享年 三十歳 昭和二十年二月七日夕刻 ルソノ島 又エバエニバ洲

死の理由 戦死 貴連銃剣戦死ス

部隊名 撃一二一〇六部隊

職名 陸軍兵長

姓名 山

出生年月日

出生地

備考

42-11

死亡確認書

第九北隊野場	第九北隊野場		部所	隊屬
兵役	現履	死後()	級	官
種		死後()	(日月年)	(年月日)
[Redacted]			名	氏
[Redacted]			()	()
[Redacted]			本籍地	
兄	現柄氏名	同		
[Redacted]	[Redacted]	同		
死	區分	現住所	死亡狀况	
死	區分	年月日		
死	區分	場所		
死	區分	事由		
死	區分	傷病名		
死	區分		遺留品	
死	區分		狀况	

昭和三年一月五日

右確認す
死後()

第九北隊野場 隊長

遺留品 狀况

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名(続柄) 戸主

氏名

年 月 日生

07-007

二、所属(團)部隊名 十師團 中隊 兵種 歩兵 死に前官等級陸軍二 年 月 日 昭和 年 月 日

三、戦死者徵集年月 昭和 年 月 日 役種 現役 兵種 歩兵 死に前官等級 陸軍二 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 時 分 場所 島根県 松江市 中野町

五、戦死現認ノ程度 現認 不詳

六、遺骨歸還ノ有無 不

七、戦死當時ノ状況ノ概要 敵ト討立ニ赴キ空陸共同ニテ攻撃中戦死シテ現認不詳

八、死亡區分 戦死 申由 現認 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地ニ於テ戦死シテ遺骨未ダ歸還セズ、又、不明等既入從) 申立時ニ於テ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ続柄 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所属部隊名

兵種 歩兵 官等級 陸軍

任長

氏名

市町村長證明箇所

前記(一)ノ記載ニ據リ、戦死者トシテ證明候也

課長

係長

主任

戦歿者備認證明書

昭和22年7月10日

固有部隊名

三三三通一甲隊

通稱號

三一五三三部隊

死亡前階級

一等兵

死亡後階級

下等兵

徵集年

役種

兵備

年月日生

本籍地

[Redacted]

留守所

現病氏名

死亡日

右の首昭和

20年2月9日

時分

に於て

場所

熱帯(熱)に依り(熱死)せしことを確認す

遺骨

確證番号 創 3. 説據書類 戦死

留品

その他

現認

依

印

居住所

所属部隊

同部隊

(課別)

各課係に於ける印

16-11

402

現認證明書付

死者	所屬	遺跡	遺物	遺言
三右	陸軍	近新早町八〇五部隊	隊	
身分	陸軍	官	兵	
姓名	三右			
遺言	遺言	遺言	遺言	遺言
遺言	遺言	遺言	遺言	遺言

年月日時 昭和二年二月十日

死に場所 此島北の方カワヤシ附近

死に原因 戦死

遺品 三右の遺品等

遺言 南方島嶼内各地へ向かうことなり

右 現認一島中の方(留守部隊)遺言(遺言あり)

昭和二年二月十日 三右の遺品等 南方島嶼内各地へ向かうことなり

19-12

五張卷上現認者。開係

同部院中務省。近于秋末より南秀丸事多し。之り勅有矣。

秋末より

現認者

石段者経歴

才者

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、
二十一、
二十二、
二十三、
二十四、
二十五、
二十六、
二十七、
二十八、
二十九、
三十、
三十一、
三十二、
三十三、
三十四、
三十五、
三十六、
三十七、
三十八、
三十九、
四十、
四十一、
四十二、
四十三、
四十四、
四十五、
四十六、
四十七、
四十八、
四十九、
五十、

咸平四年五月御除

[Redacted]

陸軍少将

[Redacted]

昭和三年三月十五日御任

[Redacted]

[Redacted]

陸軍少将

[Redacted]

石原莞尔大佐

昭和三年四月五日

[Redacted]

[Redacted]

死 亡 の 現 認 證 明 書

本 籍 地	[Redacted]
部隊名 個 有 名	建 勳 三 十 七 中 隊
連 隊 號	隊 四 八 三 九 部 隊
官 等 氏 名	上 等 兵 [Redacted]
死 亡 した 場 所	ル ソ ン 島 バ ン ン
死 亡 した 日 月 日	昭 和 二 〇 二 〇 年 二 月 十 日
死 亡 の 原 因 (戦 死、戦 病 死)	戦 死
戦 死 の 状 況 場 所、負 傷 部 位 等 を 記 入 する	ル ソ ン 島 バ ン ン 上 陸 時 昭 和 二 〇 二 〇 年 二 月 十 日 の 兵 隊 着 陸 時 敵 砲 火 中 空 爆 死
戦 病 死 の 状 況 発 病 日 月 日、場 所 病 名 等 を 記 入 する	
遺 言、遺 言 状 の 状 況	存 し
現 住 所	[Redacted]
部隊名 個 有 名	建 勳 三 十 七 中 隊
連 隊 號	隊 四 八 三 九
死 亡 者 と の 関 係	戦 友
自 己 の 親 屬 現 認 証 明 書 官 等 氏 名 階 級	伍 長 [Redacted]

71-11

戰歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 第 二 九 四 部隊

二、死歿年月日 年 月 日

三、死歿者(姓名) 氏名 [Redacted] 日生 [Redacted]

四、死歿場所 [Redacted] 氏名 [Redacted]

五、死歿者(軍階) [Redacted] 氏名 [Redacted]

六、死歿者(職務) [Redacted] 氏名 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日 元所屬部隊名 第 二 九 四 部隊

現任所

元官階

氏名

印

此書は戦死者の遺族等に交付するものである。其の旨を周知せしむるに努むるべし。

陸軍省 戦死者確認課